
MEIKAI UNIVERSITY URAYASU CAMPUS ALUMNI ASSOCIATION

伸び続ける明海の力

MEIKAI PRIDE

“好き”を求めて出会った二人の、海辺暮らし

母校で見つけた、明るい海

明海大学浦安キャンパス同窓会

ようこそ、ホームカミングデーへ!

MEIKAI SPORTS TALK

体育会監督座談会

明海大学
浦安キャンパス
同窓会報

Dec.2023

Vol.29

”好き“を求めて出会った二人の、海辺暮らし

母校で見つけた、 明るい海。

そのレストランバーにはいつも爽やかな風が吹いている。
明海大学サーフィン部から始まった、
卒業生夫婦のライフスタイルストーリー。



夢中になったサーフィンと 仕事を両立すべく、試行錯誤

日本屈指のサーフスポットとして知られる千葉県一宮町。多くのプロサーファーもここから生まれ、世界に羽ばたいてきた。都心からほど近い場所にありながら、独特のカルチャーが育まれる町でもある。「明海大学でサーフィン部に入ったんです。当時は友達に誘われたから、という軽い気持ちだったのですが、気がつけばサーフィンにすっかり夢中になっていました。毎日海に入りたい。そんな思いが強まり、在学中に海辺のアパートを借りました」と、妻の大塚由里子さん。

夫の大塚峰之さんは、「生まれが埼玉ということもあり、サーフィンに憧れがありました。明海大学に入学することで海が少し近くなった。偶然にもサーファーの先輩に出会えることもできたんです」と話した。

時を同じくして、サーフィンの楽しさに魅了された二人。卒業後、ごく自然な形で一宮町での暮らしを選んでいた。

「いつでも海に入れる。歩いて海まで行ける。僕らの暮らしはそれに尽きる。シンプルだと贅沢な日々。お互いお酒も好きだったので、いつかレストランを開

きたいね、と話してもしました」峰之さんはそう言いながら笑う。

2005年、飲食店での修行を経てオープンしたレストラン「バーカーニャ」には二人の想いがたっぷり詰まっている。海上がりのラム酒が美味しい！と当時、あまり知られていなかったラム酒をメインに、発祥の地でもあるカリブ料理を提供した。コロナ禍前までは朝5時まで営業。隣町からも多くの人が訪れるほどで、この町でゆつくりと根を下ろしていった。「カウンターでお客さんと話している頃、外ではサーファーが海に向かい始める。そんな光景がよくありました。いい町ですよな」

お店で扱うラム酒は100種類近く。モヒートに合う、と峰之さんが一押しするキューバンブレイトからは、異国の香りがする。ラテンの明るさが、この海の町には似合うのだ。

「お店を始めて、キューバ共和国やジャマイカ、ドミニカ共和国に行きました。どこもラム酒のメッカで、現地を感じた面白いな、美味しいなというワクワクする気持ちは今も続いているんです」

さて、大学時代に出会ったサーフィンへの情熱は今も途切れることはない。朝に波があれば目の前の海に入り、その後、夕方のオープンに向けて仕込みを始める。定休日はクルマを走らせ、その日一番のサーフポイントでサーフィンをする。

自宅からほど近い海での波チェックは日課。
この場所に家と店を構えたのは、千葉県内でもコンスタントに波がブレイクするからだ

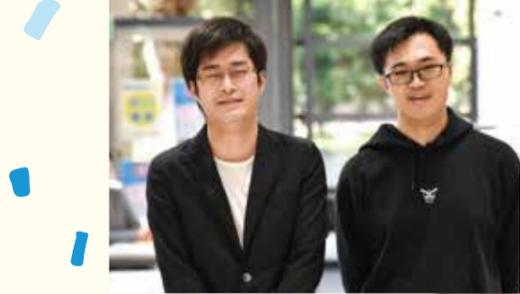
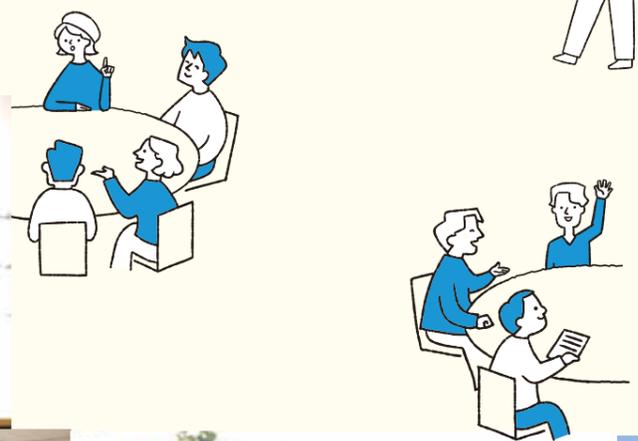


明海大学
浦安キャンパス同窓会

ホームカミングデーへ!

卒業生とその家族や教職員が参加し、旧交を温めるホームカミングデー。
久しぶりに大学を訪れ、現在の明海大学を知る良い機会でもある。
今回は、明海祭の初日である11月3日に学生食堂にて開催。
幅広い年齢層の卒業生が集まった当日の様子をレポートする。

2023 11/3 金祝



ラム酒の魅力を探掘りすべく
本場カリブ海への旅へ

峰之さんが料理、由里子さんがドリンクとホールを担当。100種類近くのラム酒が並ぶレストラン内はモダンな雰囲気



大学のサーファー仲間とは今も交流がある。海を通して長く続くコミュニケーションは、とても自然体で彼らにも心地いい

なかなか上手くならないんですよ。自分のコン
ディションや波の状態で、毎回違う。『これでいいな』
と思うことがないから、また海に向かってしまっ
た。なんでも、この感覚」
年齢を重ね、ショートボード一辺だった峰之さん
は、最近ロングボードにも乗るようになった。浮力
があり、サーフィンの楽しさをアシストしてくれる
からだ。ポディボードを長く続けている由里子さん
もボードの上に立つことにチャレンジ。また新しい
楽しさに出会っている。
「私がサーフィン部に入るきっかけを作ってくれた
友達は、今もコンテストに出場したりと頑張ってい
ます。私たちは海辺に住んでいるから、今日の波情
報を送ったりして、交流は続いている。たまには一緒



1995年度 経済学部卒
大塚峰之 Mineyuki Otsuka
1995年度 経済学部卒
大塚由里子 Yuriko Otsuka

1973年生まれ。明海大学経済学部を卒業後、海辺の街へと拠点を移す。2005年、千葉県一宮町にレストラン「カーニャ」をオープン。美味しいモヒートや珍しいカリブ料理で話題に

Food & Bar CANA(カーニャ)
千葉県長生郡一宮町東浪見7520-1 / TEL:0475-40-0818
営業時間:17:30~23:00 / 定休日:月・火

「サーフィンもお店も長く続けて、楽しんでいきたい
なと思います」
二人の海を見る目は優しい。羽ばたくとは、実は
とってもシンプルかもしれない。
に海に入るんですよ」
千葉のなかでも、コンスタントに波がブレイクす
る「一宮町。サーフィンをできない日はほほえない。それ
がこの町を選んだ理由でもあった。ゆったりと時間
が流れ、忘れかけた感性を思い出す。暮らしている、
好きなことだけを。移住した理由を聞かれてもきつ
とわからない。でも、明海大学に入ったから出会え
た景色でもある。





数年ぶりの対面開催で 会場に笑顔の花が咲く



明海大学浦安キャンパス同窓会が主催する「ホームカミングデー」が、明海祭の初日となる11月3日、同キャンパス内の学生食堂にて開催された。新型コロナウイルス感染症が5月に移行した今年、久しぶりの対面開催となった。

明海大学浦安キャンパス同窓会の北原淳会長は、「コロナの関係で数年は対面開催が難しい状況でしたが、今年は久しぶりにみなさんとお会いする形での開催となり、非常にうれしく思っています。ホームカミングデーの趣旨は、卒業すると大学に来る機会がなくなるので、一年に一度は戻ってくる日をつくらうというものです。ご歓談を楽しむのはもちろんですが、久しぶりに学内を見ていただく変わった場所もありますので、ぜひ歩いてみて、学生だった頃を懐かしんでみてくださ」と、晴れやかな表情であいさつ。2023年4月から学長に就任した中島裕学長は「みなさん、ホームカミングデーにようこそいらっしゃいました。大学にとって卒業生はとても大切な存在です。社会に出られたみなさんがこうして戻ってきてくれることを歓迎いたします。キャンパス内は、みなさんが

在学していた頃と比べ、いろいろと変化があるかもしれませんが、そういったところを見ればと思います。そして、お連れになったお子様たちが、将来、明海大学に入学することを心待ちにしています」と、笑顔で参加者を歓迎した。

会場のテーブル席はほとんどが埋まり、そこかしこで楽しそうに歓談する光景が見られた。卒業生はもちろんだが、その家族を伴った参加者も多く、至る所で新たな交流が生まれているようだった。数名に感想を伺ってみると、「久々にキャンパスに足を踏み入れ、自分が大学生だった頃を思い出しました」「初めて参加しましたが、オープンな雰囲気ですぐに溶け込めました」「明海祭が開催されていることもあって、大人だけではなく連れてきた子どもも含めて楽しい一日を過ごせました」といった話を聞くことができた。また、今回は参加者にプレゼントが用意され、会場に設置された大型抽選機の前には長蛇の列となった。当選者の喜びの声も聞こえるなど、会場はじつにぎやか。このようなスタッフの工夫もあり、今回も盛況のうちに幕を閉じた。

一年に一回大学に戻り、旧交を温め、自分を見つめなおす機会となるホームカミングデー。参加者は皆、充実した表情で帰路についていた。



(左) 菅原涼さん、(右) 菅原嘉人さん
今回初めてホームカミングデーに参加した同期の2人。「オーストラリアで語学研修をしたのが良い思い出です」と当時を懐かしんだ



(左) 金子智美さん、(右) 玉田美喜子さん
同期生の2人は「久しぶりに大学に来て、あらためて門や壁のないオープンなキャンパスが良かったです」と口々に話してくれた



(左) 大熊優美さん、(右) 伊藤史郎さん
2人は大学時代のサークル仲間。「食堂でよく駄弁っていたのを思い出します」という大熊さんの言葉に、伊藤さんも笑顔でうなずく



(左) 鎗田祐次さん
家族4人で参加した鎗田さん。「学生時代に学園祭実行委員会に1年間所属していたのですが、明海祭の日に大学に来ると当時を思い出します」

Welcome back to



(左) 大谷苑美さん
家族で参加した大谷さん。「コロナが少し落ち着いて久しぶりに参加しました。講義室のドアが綺麗になっているのが印象的です」

MEIKAI!!



スレスタ・ルベンドラ・クマルさん
ホームカミングデーは皆勤賞というスレスタさん。「学生支援の先生方のサポートのおかげで今の自分があると思っています」

久しぶりの対面開催となったホームカミングデー。会場がにぎやかに盛り上がる中、10組の参加者にコメントを伺った。



(右) 笠原恵里奈さん
ホームカミングデーへの参加経験が複数ある笠原さん。「前回参加したときは夫婦2人でしたが、今回は子ども2人も一緒に」



(左) 小野文章さん、(中央) 小畑昌也さん、(右) 田村康史さん
不動産学部同窓会支部役員でもある3人。「不動産学部出身なので、無料不動産相談会の運営も担当して大忙しの日でした」



(右) 岩渕武信さん
1期生で学籍番号も記憶している岩渕さん。「私の現役時代と比べると学生のファッションも大きく変わり、時代の変化を感じます」



(左) 中村亮太さん
中村さんは今回が初参加。「現在は教員なのですが、大学に来ると教職課程を取るために同期と苦楽を共にした頃を思い出します」

明海大学浦安キャンパス同窓会 経済学科支部懇親パーティーのご案内

明海大学経済学科卒業生の皆様へ

この度、昨年に続き懇親会開催を下記の通り予定しております。
 昨年は、コロナ禍の影響もあって、参加経験のある卒業生へのクローズドな案内により、限定的なテスト開催を行いました。今回は安全対策を取りつつ、卒業生全体への案内を行うことにいたしました。
 是非、皆様の参加をお待ちしております。

日時: 2024年3月24日(日) 16時半開場 17時開宴
 場所: オリエンタルホテル東京ベイ B1F HUB新浦安店
 住所: 千葉県浦安市美浜 1-8-2
 参加費: 無料
 募集定員: 先着100名まで(理事・教員含む)
 申込締め切り: 1月31日(水)



メイカイLINK Let's join!



新たなウェブサイトの目玉コンテンツが「メイカイLINK」です。明海大学の同窓生は様々な職業に就いています。そんな皆さんを繋ぐのが「メイカイLINK」です。ウェブサイトでは職種や卒業年度、学部などの条件で検索できデータを掲載しています。いわば、同窓生のタウンページです。お店や事業をされている方は、ぜひ登録のうえ、ご活用ください。新たなビジネスやコミュニティが生まれるきっかけとなる「メイカイLINK」に今後もご期待ください。

※申込は、下記URLもしくは右のQRコードからフォームを表示し、入力をお願いします。
<https://www.meikai.com/alumni-shops/>



体育会監督

座談会

MEIKAI
SPORTS
TALK

大規模大学に比べると少数精鋭だけれど、アスリートたちの想いは強い。
陸上、テニス、空手、バレー、サッカー、ヨット……、
日々精進を重ね、上を目指し続けるチームを支え続ける監督たちの熱い声を聞く。

練習から、自ら考えて動く
明日の栄光はここから始まる



陸上競技部 川幡俊行監督

日々、爽やかな汗とともに各々の競技に情熱を傾け続ける明海大学体育会。その選手たちを支える各部の監督・コーチたちに展望を尋ねた。口火を切ってくれたのは陸上競技部の川幡監督だ。
「陸上競技は関東学生陸上競技対校選手権大会1部校がなかなか変わらないのですが、どの大学も部員が1000人オーバーで選手層が厚い。だからこそ少数精鋭で1部に昇格することを指すとともに、そこで通用する選手を育てたいというのが目標です。陸上は個人の強さも大事だし、チームの強さも大切。明海大学の売りは競技場があり、跳躍・棒高跳びもできて投擲場もある。全ての競技が出来る強みを活かしながら、陸上競技



女子硬式庭球部 小泉順一コーチ

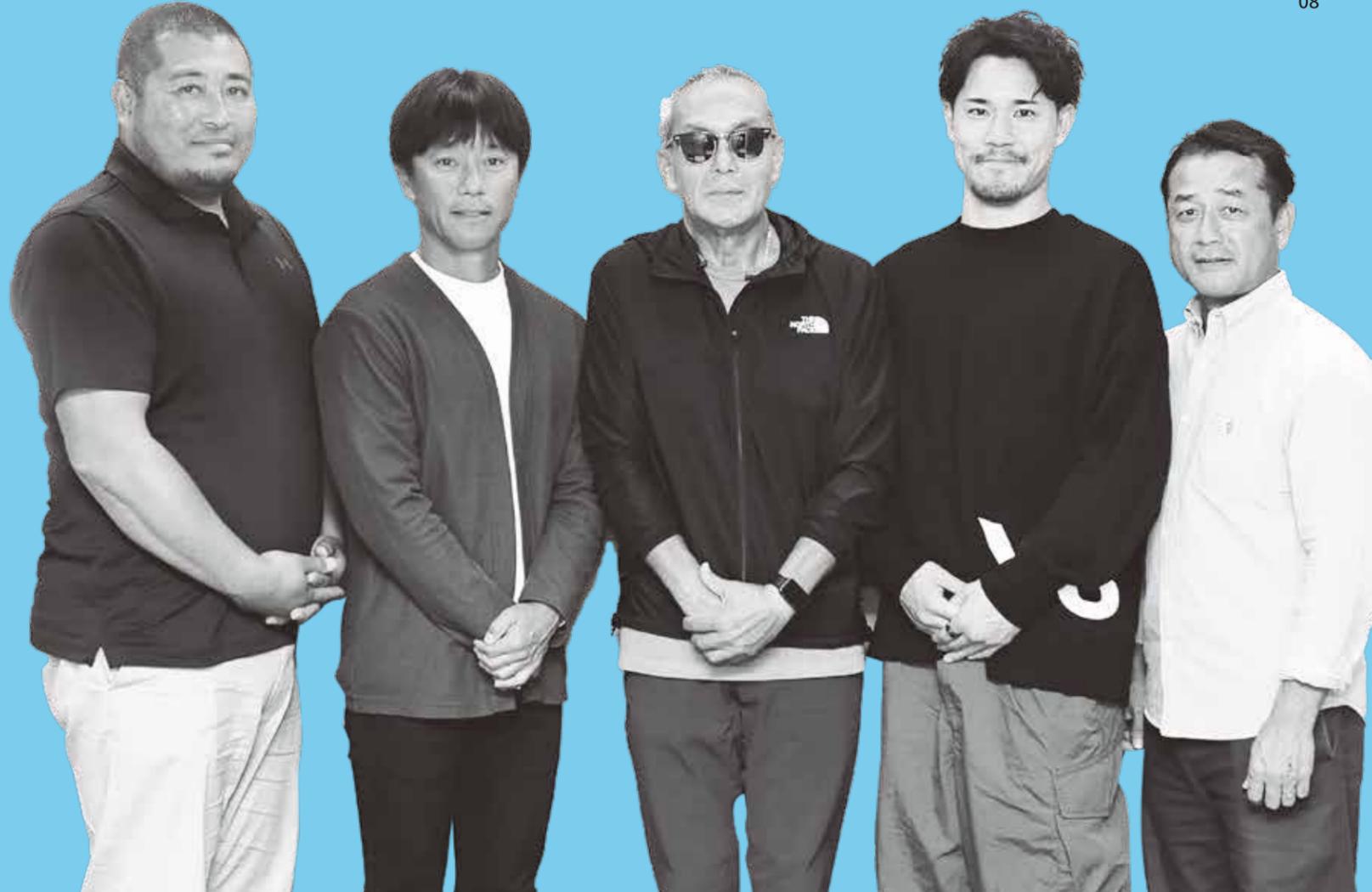
部として、チームや組織でしっかり一丸となって戦えるチームづくりをしていきたいと考えています」
そして女子硬式庭球部の小泉コーチは語る。

「今年は13年ぶりに関東テニスリーグ4部に昇格することができました。試合は最低5人必要ですが、部員が6人しかいない厳しい戦いでした。しかし、主将に今年は絶対上がるという強い気持ちがあり、人数が少ない分、自分たちでしっかり考えて練習に取り組めるようになったのは大きな成長です。それだけでなく、部員全員で助け合いながら活動していてすごく雰囲気の良いチームになっています。テニスは団体で何部にいるかが問われる競技。上を目指さないと言えないので、次は3部上がるんだ!という



空手道部 上田航監督

強い意志で選手も自分も戦っていく覚悟です」
先日の東日本の大学選手権大会で準優勝した空手道部上田監督の勝利を喜ぶ姿は目に新しい。
「結果が出てきていますが、次の目標というより目的の方がまず大切なんです。何のために明海大学で空手をやっているのか?をきちっと学生たちに伝えたい。オリンピックで競技化してテクニクに目が向けられるのですが、本来の空手は武道。最後まで礼儀・礼節を持って相手を尊敬するのは当然として、稽古・授業・生活態度まで正し



い生き方が根幹を作ります。道というのは成長し続けることが重要で、日本文化としての武道にプライドを持って日々鍛錬を重ねていくことの大切さを選手には説いています。結果は後から付いてきます」



女子バレーボール部 太田豊彦監督

「私は5年目ですが、リーグ戦で関東大学リーグ8部から始めて1敗もせず2部まで来ました。しかし今秋のリーグはケガ人続出で優勝したけれども、入れ替え戦は勝ち切れなかった。本当にメンバーは全力を出し切ったのですが、できれば万全の形でやらせてあげたかった。でも無敗でここまで上がったことは素晴らしいと思っています。人数が少なくても今いる布陣で工夫する、そんなアイデアをずっと考え続けています。目指すところは日本一しかありません」
そして、サッカー部の岩田監督は今時の選手とも組み合っている。

「現在は千葉県大学サッカーリーグ1部で戦っています。練習試合は格上とも対戦しリーグ戦に備えています。しかし本番の勝負強さでどうしても差が出てしまう。大舞台に慣れない、メンタルが強靱でない原因はいくつもあります。サッカークラブはコンタクトスポーツですから、能動的に対



サッカー部 岩田正太監督

話す力は大切です。だからこそ、自分たち自身で考えて対話し、行動していきけるチームへと導いていきたいと考えています」
ヨット部の國府田監督が見据えるのは未来だ。

「大学のヨットは早慶など資金のある私立大学が高校のヨット部キャプテンを集めていきます。でも、私たちは明海の名の元に由緒を持って常勝校として戦ってきた伝統のチームでもある。また大学に飾れないのが、全日本学生ヨット選手権大会の総合優勝旗。これを持ち帰るために、負ける悔しさより、勝つ喜びを」と選手には伝えていきます。いつまでも負け犬でいるなよ、と。潤沢な私大生と違って仕送りに頼れない選手たちはアルバイトもするし練習時間も少ない。それなら練習の質を変えない。自分たちで変えていく。その先にしか未来はないと思っています」



ヨット部 國府田由隆監督



明海祭とbayfm「あしたの音楽」がコラボ!

11月3日・4日、明海大学浦安キャンパスにて「Bloom」をテーマに開催された「明海祭」。初日の3日、好天に恵まれた野外ステージでは、昨年に続きbayfm「あしたの音楽」とのコラボレーションイベントが行われた。

MCを務めたのは、同番組のパーソナリティであるアーティストのSusuniさんとシンガーソングライターの前根由希江さん。2人はタイトルコールの後に番組のテーマソング「ONE OUR BAY」を軽やかに歌い上げ、ステージに吹奏楽部を招き入れる。吹奏楽部はハードロックバンド、タイプ・パールの名曲メドレーやYASOBIの「アイドル」のほか、ステージ前に観客の子どもたちを集めて「ジャンボリミッキー」を演奏し、会場を盛り上げる。続いて登場したのはジャズオーケストラ部。チャリ・パーカー「Now's The Time」を含む洒脱なメドレーや、MC 2人とのコラボレーション曲「あし

たも明後日も観客を心地よい音世界に誘う。ダンスサークルbabieは、各ユニットがPOPやヒップホップなどに合わせて躍動感溢れるステージを披露。10月にメジャー1stフルアルバム「messy bag」をリリースしたスペシャルゲストのシンガーソングライター有華さんは、SNSで78億回再生を突破した「Baby you & Partner」弾き語りによる「恋ごころ」、MCの2人とコラボレーションした「パーステソング」の4曲でのびやかな歌声を響かせ、観客を魅了した。ラストは出演者全員がステージに上がり、番組オリジナル曲「CATCH THE DREAM」を締めくくった。

イベントの様子は、11月9日、16日に臨場感たっぷりのままに「あしたの音楽」で放送された。来年度以降のコラボレーションにも大きな期待が寄せられる。



恩師からの便り



外国語学部英米語学科

教授 小林 裕子 Yasuko Kobayashi

明海大学同窓生の皆さまにおかれましては、社会で、ご家庭でお忙しくお過ごしの日と拝察致しております。外国語学部英米語学科主任の小林裕子です。メディアセンタ―長も拝命しております。

さて、「もし時間を巻き戻すことができるならば」など思いを巡らせることはあります。すか。いつ頃に戻りたいとお考えでしょうか。卒業が近づくと、多くの学生は「もっとまじめに勉強すれば良かった」「あつという間の4年間だった」と口惜しそうに語ります。卒業数年後に近況報告に来てくれる卒業生は「いま思うと大学時代が一番楽しかった」と懐かしそうにキャンパスの景色を眺めるものです。

たつぷりの時間とたつぷりの課題、苦しい

必修科目と苦しいアルバイト生活乗り越えて社会に出て、責任ある仕事を任されるようになった頃には「無責任だった大学時代」がいかにかけがえのないものだったかに気付かされますね(私も同感です)。

時間が不可逆的である現実を受け止めるならば、「大学時代に時を戻す」ことを考えるのではなく、「大学時代のように学ぶことを再開してみよう」と考えてみるのはいかがでしょうか。記憶力は年齢と共にチョビビリ後退するという信じたくない現実があるようですが、理解力は絶えず向上するという実感をお持ちでしょう。様々な学部学科で多くのことを学んで卒業された皆様でも、ふとした瞬間に「あの時、もっと勉強しておけばよかった」「これ、習った気がする」と感じることもあると思います。そんな時、懐かしみの浦安キャンパスにいらしてください。図書館の本の森を探索してください(卒業生の図書館利用について詳しくはHPをご覧ください)。大学時代のように「課題図書」を選ぶのではなく、現代社会が抱える「課題解決のための本に出会ってください」。

大学のカリキュラムは変容を遂げますが、皆様が明海大学で培った建学の精神でもある「社会性」「創造性」「合理性」は、いまこのグローバル社会で探求されるべき普遍的価値観です。建学の精神が息づく懐かしみの浦安キャンパスに、そして図書館にお越しください。

セキュリティの関係上、
ホームページには公開いたしません。

体育会REPORT

サッカー部



千葉県大学サッカー選手権大会

1位

ヨット部



関東学生ヨット春季選手権大会女子レース 総合2位
第90回関東学生ヨット選手権大会団体戦 総合4位
日建・レンタコムカップ第31回全日本学生女子ヨット選手権大会 総合4位
第90回関東学生ヨット選手権大会団体戦 総合5位
第88回全日本学生ヨット選手権大会団体戦 総合14位

空手道部



第59回東日本大学空手道選手権大会男子団体組手 準優勝
第34回関東学生空手道体重別選手権大会
男子個人組手競技75kg級第3位 丸石純斗(不動産学科3年)
第67回全日本大学空手道選手権大会男子団体組手 第5位

女子硬式庭球部



関東大学テニスリーグ 5部2位(第4部昇格)

陸上競技部



第102回関東学生陸上競技対校選手権大会
女子1部走幅跳(決勝)8位入賞 山田きらり(経済学科2年)
男子2部砲丸投(決勝)2位入賞 松岡義人(経済学科1年)
男子2部三段跳(決勝)7位入賞 保坂有力(日本語学科4年)
男子2部円盤投(決勝)8位入賞 橋本笙汰(経済学科1年)

女子バレーボール部



関東大学女子バレーボール秋季リーグ戦 2部全勝
千葉県大学バレーボール男女選手権大会 優勝
第70回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト8

※大会の予定や結果の詳細は体育会ウェブサイト(<http://meikai-sports.jp>)でご確認ください。

コミュニティサポート事業

明海大OBウィナーズ



浦安市春季市民体育大会ソフトボール競技初戦の強豪サンライズ、2戦目の美浜ビーチボーイズと敗戦で大会を終えました。秋季大会の巻き返しを誓うとともに定期的に練習が必要と認識しましたが、ケガでベンチにいる中心選手の復活がないと上位に食い込むのは難しいところ。でも、数年実施していなかった大会後の打ち上げをやっとうることができ、楽しいひと時を過ごせました。

第4回 Swish Cup開催!



本格的に始めてから4回目となる、SwishのOB・OGによるゴルフコンペを開催しました!ゴルフの後は、OBが店主として営む焼き鳥屋で打ち上げを行い、学生時代の忘れかけていた記憶が蘇り、懐かしい思い出話に花が咲きました。これからもさらに交友関係を広められる有意義な会にしていきたいと思います。OB・OGの方で参加できる方は是非ご参加ください!

あさくま



80年代のバンドブームに新スタイルの軽音楽サークルとして創られた「サウンドハウスあさくま」。ロック、ポップ、フュージョン、テクノ、メタル等のバンドが多数在籍、94年に部員は100人を超えましたが、その後姿を消しました。でも当時のメンバーは今でも定期的に交流しており、今回の懇親会は、浦安キャンパスで音楽と真摯に向き合っていた仲間が、青春を振り返る会となりました。

日本語学科有志

学生時代からつながりのある、先輩後輩でBBQを開催いたしました。コロナ禍で開催が3年程行えなかったため、久しぶりに対面で大人数が集まった形になります。参加者全員がコロナ禍で職業や、周囲の環境が変化していることに驚きを感じました。実際に対面で話し合うと会話も弾み、学生時代に戻ったような気持ちになり、非常に充実した時間を過ごせました。卒業後もコミュニティサポートといった形で、同窓生をサポートして下さること、大変うれしく思います。

2023年度代議員会



2023年度明海大学浦安キャンパス同窓会代議員会は、昨年同様ハイブリッド形式であったが、多くの役員が対面で開催された。初めに北原淳会長から今年度より学長が交代されたことが伝えられ、中馬裕新学長を紹介。その後、同窓会の事業報告や決算報告、新役員の選出、新年度事業計画、予算案などが審議、承認された。

サポート条件

※詳しくは同窓会ウェブサイトにてご確認ください

- 原則として会員が10人以上で集まるコミュニティであること。
*支援対象者は、会員のみとなります。
- パーティーや活動終了後、レポートと参加者名簿を提出すること。
*レポート・名簿ともに規程フォーマットに記入していただきます。
*レポート・写真は、HPや会報に掲載させていただくことがあります。予めご了承下さい。
*参加者名簿は、本会のプライバシーポリシーに準じて活用いたします。
- 宗教や政治活動を目的とするコミュニティは対象外となります。
- 支援は年度内1回のみです。(同じ人が年2回受けることは出来ません)

編集 / 発行

明海大学浦安キャンパス同窓会 〒279-8550 千葉県浦安市明海1

tel:047-355-5112 / mail:info@meikai.com



www.meikai.com